



第13号

鶴見民児協だより

令和7年4月発行

鶴見区民生委員児童委員協議会 会長 小林 政晴

鶴見区鶴見中央 3-20-1 ☎045-510-1791

こんにちは

民生委員・児童委員、主任児童委員です

地域と関係機関のつなぎ役

福祉に関する様々なご相談をお受けし、関係機関につなげたり
相談窓口や支援サービスをご紹介します

身近な見守り役

地域の状況を把握し
支援が必要な方が地域で
安心して暮らせるよう
定期的に訪問しています

地域福祉のボランティア

地域から選ばれ
皆さんが安心して暮らせるよう
お手伝いする
ボランティアです

何の木？

ちい“き”
だよ



民児協とは？

「民生委員児童委員協議会」
の略で、民生委員・児童委員、
主任児童委員の活動を推進
するための団体です。

※民生委員・児童委員、主任児童委員は、困りごとなどを“直接”解決することはできませんが、
解決に向けたお手伝いをしてまいりますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせは、 鶴見区役所 福祉保健課 運営企画係 電話：510-1791 FAX：510-1792

民生委員・児童委員、主任児童委員は地域の“つなぎ役”

民生委員・児童委員、主任児童委員ってどんな人？

「民生委員・児童委員、主任児童委員」は、地域の方々の身近な相談相手として、支援が必要な方を行政や専門機関へとつなぐ“つなぎ役”で、無償で活動する非常勤の地方公務員です。

民生委員・児童委員のなかで、子どもや子育てに関することを専門に担当するのが「主任児童委員」です。

鶴見区では、自治会町内会等から推薦され、厚生労働大臣から委嘱を受けた335名（うち主任児童委員は34名）※が、担当地域ごとに様々な活動をしています。 ※令和7年1月1日時点

相談したことが他の人に 知られたりしないの？

「民生委員法」で、その職務を遂行するにあたっては、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守ることが義務付けられています。

相談内容に限らず、活動中に知り得た個人情報も守秘義務の対象ですので、安心してご相談ください。



お受けできない相談もあります

- 身の回りの世話をしてほしい…
 - お金を貸してほしいのですが…
 - 子どもを預かってほしいのですが…
 - 保証人になってほしいのですが…
 - 救急車に同乗してほしいのですが…
 - 近隣トラブルの仲裁をしてほしい…
- などのご相談はお受けできません。



あなたも、 『民生委員・児童委員』になってみませんか？

現在の民生委員・児童委員、主任児童委員は、令和7年11月30日をもって任期を満了し、令和7年12月1日付で、一斉改選が行われます。

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動に興味がある方は、鶴見区役所 運営企画係まで、ぜひご連絡ください！

民生委員・児童委員に聞きました！

今回お話を聞いたのは…

潮田中央地区 飯泉 稔 さん 5 期目(15年目)
潮田東部地区 小西 賀子さん 6 期目(16年目)
矢向地区 倉本 英子さん 9 期目(27年目)

民生委員になったきっかけは？

(飯泉) 29 歳の頃に体育指導委員になり、町内会と関わりを持つようになりました。体育指導委員を 15 年間務め、表彰を受けて辞めた後、当時の町内会長から依頼がありました。とても熱心に依頼されて、民生委員を引き受けることになりました。

(小西) 同じ地域に住む町内会役員から依頼がありました。初めは私に民生委員が務まるのか不安でしたが、引っ越してきたばかりだったこともあり、地域に馴染むのによいかもしいと考え、引き受けることにしました。

(倉本) 依頼があった当初は、仕事を始めたばかりだったこともあり、無責任に引き受けることはできないと考えていました。しかし、町内会役員から活動の内容を説明してもらい、考えた末に、引き受けることにしました。

民生委員になって、新たな“気づき”はありますか？

(飯泉) ひとり暮らししている高齢者の方の考えや気持ちは、やはり同じ立場になってみて初めて分かる部分があると感じます。また、高齢者の方の見守り活動をしていて感じるの、足腰を鍛えるために散歩は続けた方がよいということですね。

(小西) 民生委員を務めることで、これまでよく知らなかった行政の仕組みを知ることができました。また、高齢者の方の見守り活動を通じて、感謝していただけますが、人生の先輩方に私自身が励まされることもたくさんありますね。

(倉本) 民生委員の仕事内容を理解するには、時間がかかりました。今でも分からないことは多くありますが、訪問先でお話を聞き、困りごとを解決した時は、民生委員をやっているよかったなと思います。

地区紹介

鶴見区民生委員児童委員協議会（区民児協）は、17の地区民生委員児童委員協議会（地区民児協）から構成されています。今号では、**小野町**、**生麦第一**、**生麦第二**、**豊岡**、**寺尾**、**寺尾第二**、**駒岡**、**上末吉**、**下末吉**の9地区と**主任児童委員**の活動をご紹介します。

小野町地区

—地域の見守り、みんな笑顔で暮らせるように—

小野町地区では、高齢者の見守りや災害時要援護者を支援する活動をしています。また、子育て中の家庭とつながりを築くことを目的として、月に1度、地域ケアプラザで、0歳児から未就園児の親子を対象としたイベントを企画しています。イベントは季節に合った内容を考え、夏にはビニールプールを用意して水遊びをしたり、秋には地区センターの体育館でミニ運動会を開催しています。まだ歩けない0歳児の親子は子どもを抱っこしながら、自分で歩ける子どもたちは自由にとんだり跳ねたりしながら、みなさん楽しく参加してくれています。また、保育園の先生をお招きしてのクリスマス会では、サンタさんからプレゼントを用意します。外出しづらい0歳児の親子もイベントに参加することで、同じような年齢の子どもをもつ親同士で交流できるようになります。私たちはこうした場で、地域の情報を提供したり、子育ての悩み・心配ごとの解消の手助けとなれるよう努めています。

民生委員・児童委員、主任児童委員、ボランティア8名と少ない人数ですが、地域と協力しながら、これからも楽しく活動に励んでまいります。



地域ケアプラザでのイベントの様子



クリスマス会の様子

生麦第一地区



生麦第一地区の民生委員・児童委員、主任児童委員



食事会の様子

—仲良く朗らかに、広げよう笑顔の輪—

生麦第一地区は、21名の民生委員・児童委員と、2名の主任児童委員の23名で活動しています。毎月の定例会を軸に、高齢者の見守り訪問、食事会、子育て支援、研修会、地域のイベント等への参加に取り組んでいます。食事会は、コロナ禍を経て、会食形式での開催を再開しました。メニューを工夫し、参加者の満足度向上も目指しながら、住民の交流活性化に貢献してまいります。子育て支援では、毎年7月に親子向け防災講座を開催しています。防災用品を使つての体験コーナーは大好評で、参加者から喜びの声をいただいています。

主任児童委員は、関係機関と連携しながら「学び遊び場の会」を、夏休み、冬休み、春休みと年に3回開催しています。子どもたちに勉強を教えたり、歌やボッチャ、モルック等と一緒に遊んだりしながら、楽しく活動しています。

地域の各行事に積極的に参加し、他の団体とも協力しながら、笑顔あふれるよりよい地域づくりに貢献してまいります。

生麦第二地区

—いつまでも住み続けたい地域を目指して—

生麦第二地区は、鶴見区の南西に位置し、生麦・岸谷・東寺尾の13自治会、約14,000世帯が暮らす地域です。26名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員が、いつまでも住み続けたい地域を目指して、高齢者の訪問や子育てサロンのお手伝い等を中心に活動しています。

毎月の定例会では、外部講師等による、介護保険や成年後見人制度などをテーマとしたミニ研修会を開催し、日頃の訪問活動に活かせる幅広い知識の習得とスキルアップに努めています。また、民生委員・児童委員が、課題をひとりで抱え込まず安心して活動できるように、東寺尾地域包括支援センターの主催で、地域を担当するケアマネジャーとの交流会を地区内のブロックごとに開催し、困りごとの共有を図っています。26年目を迎える当地区の伝統事業であるふれあい防災訪問では、高齢者のお宅を民生委員・児童委員や自治会・町内会の役員が訪問し、防火・防災に加えて、昨今の特殊詐欺への注意も呼びかけています。

今後も、関係機関、組織との連携により、住みやすいまちづくりを行ってまいります。



横浜市民防災センター訪問



ケアマネジャーとの交流会の様子

豊岡地区

—地域みんなの居場所 豊岡地区—

豊岡地区は鶴見駅に近く、100周年を迎えたばかりの豊岡小学校区域にあたり、総勢20名で活動しています。

令和5年4月には、もくもぐ食堂（こども食堂）をスタートしました。子どもたちに学校や家庭以外に地域での居場所をつくってあげたいという思いから、月に1度、第2木曜日に開催しています。会場は豊岡小学校隣の豊岡第2・3会館。事前申込みの受付は、鶴見中央地域ケアプラザが担当してくださり、運営スタッフとして豊岡地区連合会の皆さんにもご協力いただいています。また、婦人部・保健活動推進員・ヘルスメイトなどの委員の皆さんも、毎月交代でお手伝いしていただきます。食事をした後は、みんなでゲームなどをして遊び、子どもたちが家に帰ろうとするころには日が沈んでいるため、各町内会長さんによる見送りが行われます。この活動を通じて、子どもたちだけではなく、携わる私たちにとっても、地域の方々と顔の見えるお付き合いができて、情報交換の場となっていることに気がきました。いつ起こるか分からない大災害に備えても、よい顔つなぎができたと思っています。



豊岡地区の
民生委員・児童委員、主任児童委員



もくもぐ食堂スタッフ

寺尾地区

— みんなが安心して暮らせる地域に—

寺尾地区は、鶴見区の中央部から北西に広がる古くからある住宅地です。

少し歩けば、三ツ池公園、獅子ヶ谷市民の森、鶴見花月園公園があります。

坂が多いのですが、自転車の多くが電動式になり、移動が楽になりました。

歴史的な場所、幼稚園や学校も多く、古くから住んでいるだけでなく、子育て中の方も安心して暮らせる場所です。

私たち民生委員・児童委員、主任児童委員は、社会福祉協議会などと協力して、高齢者の見守りや子育て支援などを中心に活動しています。

最近は特に、高齢者の詐欺被害が増えているので、電話での還付金詐欺などについて注意を呼び掛けています。

寺尾地区では、自治会加入者に「無事ですシール」を配布し、災害時の安否確認に活用しています。

自治会に未加入の災害時要援護者には、民生委員がシールの使い方を説明しながら直接お渡しするようにしています。



寺尾地区の
民生委員・児童委員、主任児童委員



無事ですシール

寺尾第二地区

— 地域とのつながりをより深めて—



寺尾第二地区の
民生委員・児童委員、主任児童委員



地域と何かできる会の様子

寺尾第二地区は鶴見区の北西に位置し、山坂の多い地区です。その地形が高齢者の行動範囲を狭めていることが、この地域の大きな課題の1つといえます。そのことは、馬場地域ケアプラザの包括支援センターと民生委員・児童委員との連絡会議でもしばしば話題になっていました。

そこで今年度は、高齢者支援行事の1つである「お楽しみ福祉大会」において、移動支援を実施しました。これまで山坂や急な階段があることで、参加を躊躇されていた15名の方が、移動支援によって会への参加が可能となり、楽しい時間を過ごすことができました。

また、「第2回地域と何かできる会」では、民生委員・児童委員、主任児童委員と地域の小・中学生の代表十数名が一堂に会し、よりよい地域にするための話し合いを行いました。そこでは、以前から子どもたちが地域でやってみたいこととして挙げていた「地域清掃」に、地域と上の宮中学校の福祉委員が協働して取り組むことが決定しました。

私たち寺尾第二地区の民生委員・児童委員、主任児童委員は、これからもますます地域とのつながりを深め、「なんでも話せる地域の人」になれるよう努めてまいります。

駒岡地区

―「チーム駒岡」で子どもたちを見守ります―

駒岡地区では小・中学校の PTA 役員や子ども会から町内会ボランティアを経て、主任児童委員に就く場合が多いように思います。

活動をしていく中で「駒岡地区の人は、子どもたちのためになんてたくさんの時間を使ってくれるのだろう」と感じています。今でも小学校の行事では、昔遊び大会やさつま芋苗植え、収穫、稲作、野菜育てなどが行われ、子どもたちと地域の人々が関わりをもっています。町内会の行事でも、夏祭りや太鼓教室、盆踊り、紙飛行機大会に、大勢の子どもたちが参加しています。主任児童委員として活動していると、こうした子どもたちとの関わりが、日ごろの見守りにつながっていくことを実感します。こうした関わりが、民生委員・児童委員、主任児童委員間でのスムーズな情報共有に役立っていると感じるのです。

核家族化が進み、人や地域のつながりが薄くなってきているといわれますが、幸いなことにここ駒岡地区では、地域全体で子どもを育てるという昔からの風土が継続しています。まさに「チーム駒岡」。「チーム駒岡」の一員として、今後も活動に励んでまいります。



駒岡地区の
民生委員・児童委員、主任児童委員



盆踊りの様子

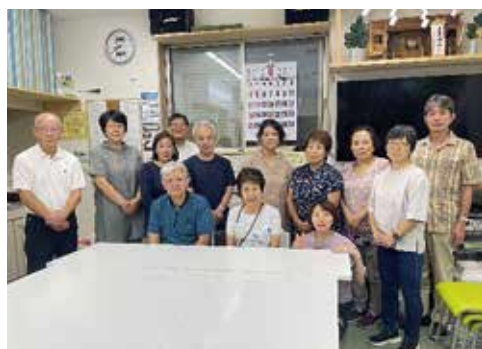
上末吉地区

―いつまでも安心して暮らせる地域を目指して―

上末吉地区は、民生委員・児童委員 15 名と主任児童委員 2 名の計 17 名で活動しています。

主任児童委員が中心となり行っている小学校の花壇整備のお手伝いでは、子どもたちにも参加してもらい、花を育てる「花育」活動を行っています。特に 2 月の活動では、卒業式、入学式に向けて、学校を思い出せる場所づくりを心がけています。また、独居高齢者会食会「やよい会」を毎月開催していて、食事は、地域の婦人部や消費生活推進員の皆さんが、手作りの家庭料理を用意してくれます。食事前の地域ボランティアによる催しや行政による健康に関する情報提供、会員同士の会話も味付けの一つとなって、楽しく過ごしています。

私たちは、社会福祉協議会や地域、行政と連携して、それぞれの得意分野を活かしながら、特別支援学級児童の登校支援、児童や青少年の見守り・育成などを通じて、子どもにとって、そして高齢者にとっても、いつまでも安心して暮らせる地域を目指して、今後も活動してまいります。



上末吉地区の
民生委員・児童委員、主任児童委員



小学校の花壇整備の様子

下末吉地区

—安心して暮らせる地域を目指して—

下末吉地区は、平坦な地形と山坂の地形がある地域です。人口は約 14,000 人ですが、65 歳以上の高齢者の人数は約 3,700 人で、高齢者の割合は 26% ほどにもなり、高齢化が進んだ地域です。また、町内会などで行う納涼祭や運動会・地域防災訓練などの行事には大勢の人が参加して毎回大いに盛り上がるなど、人と人とのつながりが非常に強い地域でもあります。

こうした特徴をもつ下末吉地区において、私たち民生委員・児童委員、主任児童委員 18 名は、ひとり暮らしの高齢者や災害時要援護者などの見守りや相談・支援などの活動を通じて、地域や地域ケアプラザなどの関係機関との連携を深めながら、高齢者などが安心・安全な住み慣れた地域で暮らし続けられるよう活動を続けています。

また、日ごろの活動の一環として、社会福祉協議会と共同で、月に 1 度、地区センターで、ひとり暮らしの高齢者を対象とした昼食会「寿々め会」を開催しています。寿々め会では、ボランティアによる 40 分程度の余興や地域ケアプラザによるクイズ大会などを行った後、民生委員・児童委員による手料理を提供し、参加者に楽しいひと時を過ごしていただきます。



下末吉地区の
民生委員・児童委員、主任児童委員



昼食会準備の様子

主任児童委員

—鶴見区主任児童委員です！—



鶴見区主任児童委員



よこはま東部ユースプラザ
視察研修での講義聴講の様子

現在私たちは、男性 7 名、女性 27 名の全 34 名で、精力的に活動しています。主に子どもや子育て家庭を対象とした支援活動を行っており、区や学校、その他の関係機関等とも連携しながら、行政等の支援が必要な方を支援窓口へとつなぐ役割を担っています。また、定期的に研修を開催し、子どもや子育て家庭を取り巻く様々な問題の早期発見や解決に向けて、知識の習得にも努めています。

<よこはま東部ユースプラザ視察研修>

令和 6 年 6 月、若者の自立をサポートする、よこはま東部ユースプラザの職員の方を講師としてお招きし、施設における支援の内容について、ご講義いただきました。講義の後には、施設へ出向いて、職員の方の案内のもと、実際の支援の様子を見学しました。

<横浜少年鑑別所視察研修>

令和 6 年 12 月には、横浜少年鑑別所視察研修を実施しました。研修では、職員の方によるご講義の聴講に加えて、少年らが実際にどのような場所で過ごしているのか、所内の見学も行っていました。

子どもたちの笑顔のために一緒に活動しましょう♪

全体研修報告 (令和6年7月10日午後実施)

近年、自然災害が多発している状況を踏まえ、「防災」をテーマとして、研修を開催しました。研修には、民生委員・児童委員等290名が参加し、第1部では、鶴見区の地震リスクや災害時要援護者支援の取組みについて学びました。第2部では、有識者による講演が行われ、災害が発生した場合に、民生委員・児童委員としてどのように行動できるか、学びを深めました。研修で学んだ内容は、今後の民生委員・児童委員としての活動に活かされます。



研修受講中の様子

研修を受講した委員の声

潮田西部地区 大島 清乃さん

第2部の講演では、先生の話術に引き込まれ、とても楽しい時間となりました。なまはげを活用して、見守り・支援の体制を確立している地域のお話には感動を覚えました。鶴見区にも”ひょっとこ”さんが現れたら、面白いかな？

潮見橋地区 松本 勝己さん

なまはげは、地域に密着した存在で、要配慮者を把握し、避難場所である神社を活動拠点としていることから災害時の支援者には適任で、防災ボランティアの役割を担います。災害時には私も支援の一助を担うことができるのだと再認識しました。

その他、研修を受講した委員の声

- 日ごろから地域と関わりをもつことの大切さ、防災訓練を行うことの大切さを改めて感じました。
- 日ごろの民生委員としての活動が、災害時にも活かされるのだと再認識しました。
- 災害時のトイレの大切さに気付かされました。

災害に備えた、民生委員・児童委員の取組み ～私たちはこんな取組みをしています！～

市場地区 小泉 京子さん

平安町では、防災訓練を年2回行います。集合時間前に要援護者の安否確認を行い、訓練開始後に避難所へ車いすなどで誘導します。

消火訓練・火災時の煙体験・トイレ組立てなども実施して、災害時には地域で協力し合えるよう、日ごろから務めています。



訓練の様子

市場第二地区 成田 秀信さん

年に1回の市場小学校地域拠点訓練には、100名程度が集まります。民生委員は役割に基づき、要援護者の避難方法や避難誘導の流れを確認します。また、一部の自治会では要援護者への定期的な見守り活動(年2回程度)を実施し、災害時に備えています。



訓練の様子

編集後記

今年度は5年ぶりに鶴見区民生委員児童委員協議会全体研修を実施することができました。日常を取り戻した今だからこそ、非常時に備えることが大切ということで、テーマを防災にしました。また、民児協の研修では初めて、町内会・自治会の方々にもご参加いただきました。地域の安心・安全を見守るには、日ごろから多くの方の目を、耳を、心を向けていくことが重要だと再認識できました。

今後も時代や地域のニーズに合ったテーマに取り組んでまいります。ご理解ご協力をお願いします。

(広報・研修部会長 皆川 慈保)

●広報・研修部会員

皆川 慈保(部会長)・倉本 英子(矢向)・小泉 京子(市場)・成田 秀信(市場第二)・磯田 栄治(鶴見中央)・飯泉 稔(潮田中央)・小西 賀子(潮田東部)・松本 勝己(潮見橋)・大島 清乃(潮田西部)・木村 節子(小野町)・服部 美子(生麦第一)・堤 のぶ子(生麦第二)・川橋 奨子(豊岡)・平川 由美子(寺尾)・中西 忍(寺尾第二)・村上 宮子(駒岡)・鈴木 みな子(上末吉)・小幡 國子(下末吉)